

皮ごと食べられ省力栽培できる

無核赤系ブドウ「秋鈴」

果樹部

1 背景、目的

近年、ブドウでは「巨峰」以外の特徴ある品種への消費者ニーズが高まっています。一方、需要が増加している「巨峰」等の種なし栽培では、ジベレリン処理など多くの労力がかかります。このような背景のもと、ブドウの消費拡大を図るため、外観・食味とも「巨峰」とは異なる特性を有し、種なしで栽培労力の軽減が図れるブドウ新品種「秋鈴」を育成しました。

2 成果の内容、特徴

- 1) 「秋鈴」は平成6年に種なしの「ルビーシードレス」を母とし、大粒の「ハリセフ」を父として交配を行った組合せに由来します。
- 2) 樹勢は強く、発芽期は4月上旬、開花期は5月下旬、収穫期は「巨峰」より遅い9月中下旬です。花穂着生は良好で、短梢1芽せん定栽培が可能です（表1、表2）。
- 3) 収量は「巨峰」より多く、果皮は紫赤色で種が無く皮ごと食べられ、果粒重は自然状態で約6gです。糖度は18度、酸含量は0.4%程度で良食味です（表2、図1）。
- 4) 栽培労力では、「巨峰」と比べて花穂の整形や摘粒労力が少なく、種なし化のためのジベレリン処理が不要で省力化が図れます（表3）。
- 5) トンネル栽培では裂果が発生しやすくなるので、定期的な灌水やマルチ敷設によって土壌水分の急激な変動を防ぐことが大切です（データ略）。

3 主要なデータなど

表1 「秋鈴」の樹体および果実特性

調査年	樹齢 (年)	発芽期 (月/日)	開花期 (月/日)	収穫期 (月/日)	新梢1本当りの 花穂着生数	裂果性	はく皮性
平成18年	11	4/ 9	5/30	9/26	1.0	極少	難
平成19年	12	3/31	5/30	9/18	1.2	少	難
平成20年	13	4/ 6	5/19	9/ 8	1.8	少	難

表2 「秋鈴」と「巨峰」の特性比較（平成19年～20年）

品種	収穫期 (月/日)	収量 (kg/m ²)	果房重 (g)	果粒重 (g)	糖度 (Brix)	酸含量 (%)
秋鈴	9/17	1.8	256	5.8	18.4	0.45
巨峰	9/ 8	1.2	279	11.3	16.3	0.53

- 注) 1. 樹齢は平成19年で5年生、平成20年で6年生、ともに5BB台。
 2. 数値は平成19年、20年の平均値。
 3. 「巨峰」は満開時にジベレリン25ppm+フルメット10ppm1回処理。

表3 栽培労力の評価

品種	花穂整形	摘粒
秋鈴	中	極少～少
巨峰	中～多	少～中



図1 「秋鈴」の果房と着果状況